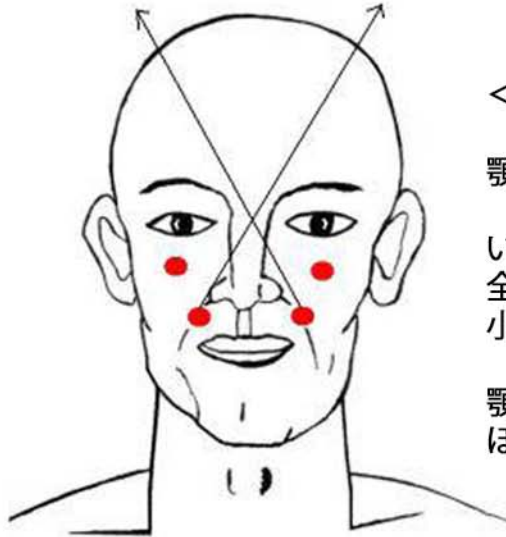


図は顎関節症になってしまう滞りのところで
この2か所をほぐし筋肉と腱を柔らかくすると口が
開きやすくなる



<顎関節症>

顎関節症は咀嚼不足で起こる

いつも咀嚼不足のせいにするが
全ての病は咀嚼不足による
小腸の滞りから始まる

顎関節症は図の赤い部分を
ほぐすと簡単に解消される

顎関節症は咀嚼不足によって引き起こされる
滞っている箇所は頬骨と頬骨と歯茎の中間点の2か所で
頬骨を押し回転させながらほぐす、口は開けてほぐす
閉じてほぐす 口を開けて横に開いてほぐす反対に開いてほぐす
2~3回、繰り返す